

2014年度の鉄軌道事業設備投資計画

駅・高架橋の耐震補強やホームドア設置など、総額432億円

より一層の安全対策のほか快適にご利用いただける環境整備に取り組みます

東京急行電鉄株式会社

減災対策として、引き続き、駅・高架橋・橋梁などの耐震補強工事を進めるとともに、異常気象への対策を推進します

東横線代官山駅、武蔵小杉駅および横浜駅にホームドアを設置します

渋谷駅や菊名駅改良工事等によるバリアフリールート of 複数整備など利便性向上を図ります

当社は、2014年度に鉄軌道事業で総額432億円の設備投資を行います。鉄道事業者の最重要の責務である安全対策に一層注力するとともに、すべてのお客さまが快適に東急線をご利用いただけるよう、サービス向上などに積極的に取り組みます。

安全対策とサービス向上の取り組みに、380億円を投資します

本年2月に発生した東横線元住吉駅列車衝突事故の原因は現在調査中ですが、事故を教訓に安全体制をさらに強化し、事故防止に努めます。

大規模地震の減災対策では、引き続き駅、高架橋・橋梁などの耐震補強工事を推進するとともに、構築物の健全性向上のために高架橋やトンネル等の長寿命化工事も行います。また、異常気象への対策検討を推進し、落雷対策としての避雷設備の増強などに取り組みます。

ホーム上の安全対策については、東横線代官山駅、武蔵小杉駅および横浜駅にホームドアを設置するほか、固定式ホーム柵も引き続き設置します。その他踏切の安全対策など、安全・安心にご利用いただける東急線を目指します。

利便性向上に向けた取り組みとして、渋谷駅では4月に創設した「渋谷ちかみちラウンジ」に続き、駅施設のリニューアル、エスカレータやエレベータなどの増設を行います。また、わかりやすく快適な地下空間を形成し、街の活性化に寄与できるよう、さまざまなサービスの提供、施設の改善に取り組みます。本年2月の大井町線下神明駅のエレベータ供用開始により、東急線全駅でバリアフリールートが確保されました。引き続き、エレベータの増設やトイレの改修など皆さまが安心・快適に利用できるように整備を進めるほか、一層環境に配慮した東急線を目指し、各駅の照明のLED化を積極的に推進します。

輸送力増強への取り組みには、52億円を投資します

東横線では、祐天寺駅での優等列車の通過線設置工事などを進めます。また、昨年3月に開始した東横線と東京メトロ副都心線との相互直通運転開始に伴い、不要となった東横線旧渋谷駅および渋谷高架橋などの撤去工事を行います。

2014年度設備投資の詳細は別紙のとおりです。

以上

【別紙】

1. 安全対策とサービス向上の取り組みに380億円

「安全の確保」は鉄道事業者の最大かつ最重要の、お客さまに対する責務であり、積極的に安全対策投資を行います。また、本年2月の大井町線下神明駅のエレベータ供用開始に伴い、東急線全駅でバリアフリールートが確保されましたが、引き続きすべてのお客さまに安心して快適にご利用いただける鉄道を目指し、バリアフリー化などの駅改良工事に取り組んでいきます。また、駅構内照明設備のLED化等、環境対策にも取り組めます。

引き続き、減災対策を進めます

昨年度に引き続き、大規模な地震に備え、駅・高架橋の耐震補強工事を進めるとともに、構築物の健全性向上のために高架橋・橋梁等の長寿命化工事を推進し、災害に伴う鉄道設備の被害の軽減を目指します。耐震補強工事について、2014年度はあざみ野駅、下神明駅、綱島駅などで実施します。また、昨今の異常気象を考慮して、避雷設備の増強による雷害対策などに取り組めます。



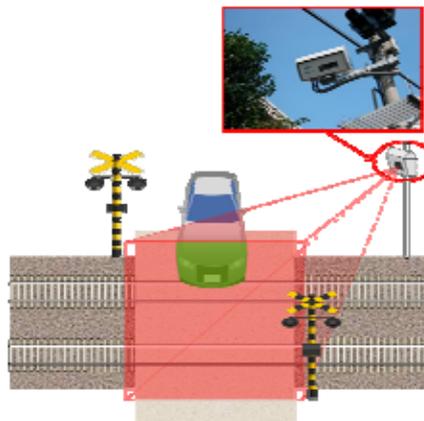
高架橋の耐震補強工事

ホームや踏切の安全対策を進めます

車いすをご利用のお客さまや目の不自由なお客さまにも安心して東急線をご利用いただけるよう、駅構内のバリアフリー化とホームからの転落事故防止策を進めており、今年度は、東横線の代官山駅、武蔵小杉駅および横浜駅にホームドアを設置します。そのほか、踏切事故を防ぐために、歩行者を検知しやすい3D式の障害物検知装置への更新を順次進めるほか、非常停止ボタンの増設、監視カメラの新設および増設などを行います。



ホームドア設置



3D式の障害物検知装置

どなたでも利用しやすい駅を目指して

渋谷駅では駅施設のリニューアルの実施に合わせて、本年4月にトイレ・授乳室・女性パウダールームなどの複合機能を有した「渋谷ちかみちラウンジ」をオープンしました。今後、エスカレーターやエレベーターなどの増設や、バリアフリールートを増やすことによる回遊性の向上を行い、サイン増設による案内強化、コンシェルジュによるご案内等と合わせて施設面、サービス面の双方で、より一層お客さまが安心・快適にご利用できるように整備を進めます。

また、菊名駅のエレベーター増設や武蔵小杉駅・二子玉川駅等のトイレ改修などを行うことで、すべてのお客さまに安心して快適にご利用いただける鉄道を目指します。そのほか、今年度中にすべての駅に「お知らせモニター」を設置し、列車の運行支障時や災害時に、支障区間、原因、運転再開見込みや振替ルートなどを迅速にわかりやすくご案内します。



渋谷ちかみちラウンジ



お知らせモニター

駅の環境対策を進めます

構内照明の全駅LED化を推進し、今年度もお客さまの利便性を向上させつつ駅全体の消費電力の削減を目指します。

2. 輸送力増強の取り組みに52億円

東横線では、祐天寺駅での優等列車の通過線設置工事を引き続き推進し、速達性向上に向けた取り組みなどを行います。また、昨年3月に開始した東横線と東京メトロ副都心線との相互直通運転開始に伴い、不要となった東横線旧渋谷駅および渋谷高架橋などの撤去工事を引き続き行います。

なお、この工事は2005年3月から「特定都市鉄道整備積立金制度」を活用して進めています。

以 上